

ケアマネジャー

～鎌倉ケアマネ連絡会広報誌～

第 28号

編集発行：鎌倉ケアマネ連絡会

発行責任者：富永 由美子

発行日：2021年9月吉日

代表就任挨拶

日頃より鎌倉ケアマネ連絡会の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

今年度、代表を務めさせて頂くこととなりました富永由美子と申します。昨年度まで活動され、多数の実績を残されてきた佐藤代表の後任ということで身の引き締まる思いでございます。お引き受けしたからには微力ながら全力を尽くしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

連絡会の活動は、介護支援専門員の資質向上と情報提供を目的に研修会や勉強会等を開催し連携がとれる場の提供を行い、専門職種間だけでなく、地域の様々な関連機関等と関わる機会を作りたいと考えております。決して強制できるものではありません。それぞれの考え方もおありかと思えます。しかし、ケアマネジャーが働きやすい環境をつくっていききたいという思いは、私たち専門職の共通の願いではないでしょうか。

そのような環境を作っていくには、やはり連絡会の活動が重要ではないかと思えます。鎌倉ケアマネ連絡会は無理のない範囲、できる範囲での活動です。会員の皆様のお力を貸していただき、支え合いながらすすめていくことができれば幸いです。

役員、事務局一同協力して、会員の皆様が気持ちよく、充実感に満ちた活動になるよう心掛けてまいりますので、ご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、就任のあいさつとさせていただきます。

鎌倉ケアマネ連絡会 代表 富永由美子



富永代表

佐藤前代表

謹啓

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業の継続に向けて、皆様のご苦勞が絶えない状況にも関わらず、当連絡会の運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成28年5月より3期6年間、介護支援専門員の資質向上と職能団体組織としての地位向上に向けて活動してまいりました。

この度、鎌倉ケアマネ連絡会代表を5月末日で退任いたしました。ご挨拶が遅くなりまして誠に申し訳ございません。

尚、後任の代表には富永由美子が就任いたしましたので、何卒相変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

介護業界を取り巻く環境は年々厳しい状況になりますが、会員の皆様のご意見をもとに、連絡会の活動を更に推進できるよう、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

2021年9月吉日

鎌倉ケアマネ連絡会 前代表 佐藤 秀之

鎌倉の歴史を知ろう！

鎌倉歴史コラム

鎌倉ケアマネ連絡会創世記物語

「サロンみちくさ」について

介護保険制度発足当初は、次々と制度改正があり、プラン作成にあたって、利用者への説明に苦勞が多く、講師を招いての研修とは別にケアマネ同士が気軽に話し合える“居場所”が欲しいねという声があがり、月1回福祉センターやNPOセンター鎌倉で開催することになりました。職場から家に帰る途中で、仕事の憂さや苦勞を仲間に聞いて貰い、炊き込みご飯のおむすびやお菓子で小腹を満たし、ケアマネの疲れた心を癒し、明日また頑張ろうと気持ちに切り替える役割を果たしていました。勿論、おしゃべりだけでなく、事例研究、インシデントプロセス法などもやっていましたよ！

サロンみちくさの開催時の様子 2010年11月



ケアマネジャー 紹介コーナー

七里ガ浜高齢者相談支援センター

・写真左から 関根、酒井、廣江、久下

自己紹介…①好きな芸能人②好きな4文字熟語③〇〇さんを紹介します。

関根：①秦基博②一生懸命③久下さん…逆紅一点！

色々あるのに気付かないうちに仕事をこなすタフな人です。

酒井：①イ・ミンホ②臥薪嘗胆③廣江さん…経験引っ提げて居宅に参入。機動力満点です。

廣江：①西島秀俊②自転車操業(5文字でした…)③関根さん…期待の大型新人(身長ではありません)

私の頭の中までしっかり整理してくれます。

久下：①松岡茉優②確定心告③酒井さん…その“やさしい声”の大ファンです。私の仕事のお手本です。



・七里ガ浜高齢者相談支援センター 事業所紹介

私どもは特養七里ガ浜ホームの併設の居宅介護支援事業所ですが、どういうわけか？テレジア病院の3階にお店を構えています。

ご存知の通り、テレジア病院からのロケーションは最高ですが、雨風が強い日に吹き飛ばされないよう、くれぐれも注意が必要です。

上記の4名にて、地域の皆様のご期待にお応えできるよう頑張っています。今年のテーマは事例検討会の定期開催。お互いのケースを客観的に分析できる力を身に付ける。視野を広く持つことで支援の可能性を広げる。今年こそ意識的に学習の機会を作る！

コロナ蔓延への閉塞感は、もう一年以上になります。“〇〇株”のような新たな型も次々出てきています。まだまだ解放には時間が掛かりそうですが、まずは私たち自身が身を守る。ここをしっかりと意識して、ご利用者にも安心、安全を提供していきたいと思っています。

地域資源を知ろう！

おしゃべりカフェだんだん（西鎌倉）

「おしゃべりカフェだんだん」は、平成27年春より、鎌倉市市民健康課より開催についての相談を受け、西鎌倉地区社会福祉協議会が中心となり活動を始め、平成28年度スタートしました。

地域の方々が気軽に集まり、おしゃべりをしたり、カラオケをしたり、情報交換をしたり、アート・趣味を楽しんだり、皆様とお茶を飲みながら、「のんびりした時間」を過ごしていただく事を目的に活動しております。

令和2年コロナ禍による参加者の減少、オレンジ色が認知症のイメージカラーと定着してきた事もあり、「オレンジカフェ」という名称に抵抗感を持つ方が増えてきました。

開設して5年を経過している事もあり名称を「おしゃべりカフェだんだん」と変更し、イメージを一新して認知症にこだわらず、地域の多くの方が集い、おしゃべりし、心配事があれば相談に乗るというスタンスで続けています。

地域住民の方や地域内の介護保険事業者の協力もあり、医療やケアの相談にも対応しており現在に至ります。参加ご希望の方は下記のお問合せ先までご連絡下さい。今回は2021年7月18日（日曜日）に開催された、「富士山▲の写真展」の様子を紹介させていただきました。



おしゃべりカフェだんだん

主催：西鎌倉地区社会福祉協議会

協力：デイ西かま/かまくら在宅生活相談センター
かまくら認知症ネットワーク / 鎌倉市
地域包括支援センター聖テレジア第2

開催日時：奇数月 第3日曜日 13:30~15:30

開催場所：中国茶 茶風（西鎌倉 1-18-14）

参加費：200円（お茶、おやつ代金）

お問合せ：西鎌倉地区社会福祉協議会 千代さん（0467-39-1525）



私たちがご案内
させていただきます

鎌倉市内のオレンジカフェ開催について（鎌倉市 認知症ケアパスより）

今泉台オレンジカフェ	ワーキングデイわかば	40-4210
由比ガ浜オレンジカフェ	マナオハナデイサービス	39-6087
梶原山オレンジカフェ	NPO 法人和の会	46-8233
かまときカフェ	SOMPO ケアラヴィーレ鎌倉常盤	43-1165
本人カフェ	一般社団法人かまくら認知症ネットワーク	47-6685
オレンジカフェ花物語かまくら	グループホーム 花物語かまくら	31-8787

2021年度

鎌倉ケアマネ連絡会 役員紹介

<p>代表・調整検討部会 富永由美子</p>  <p>セントケア大船</p>	<p>副代表・調整検討部会 研修部会 杉原みどり</p>  <p>クロスハート鎌倉二階堂</p>	<p>副代表・調整検討部会 研修部会 富澤 晃</p>  <p>かまくら 在宅生活相談センター</p>	<p>副代表・調整検討部会 広報部会 宮谷 清美</p>  <p>地域包括支援センター 湘南鎌倉</p>
<p>会計・広報部会 小沢 悟</p>  <p>アシスタンス</p>	<p>書記・広報部会 宮田 幸世</p>  <p>すばるケアプランセンター</p>	<p>書記・研修部会 吉川 泉</p>  <p>地域包括支援センター ささりんどう鎌倉</p>	<p>書記・広報部会 佐藤 秀之</p>  <p>聖ヨゼフ病院</p>
<p>研修部会 久下大太郎</p>  <p>七里ガ浜高齢者 相談支援センター</p>	<p>研修部会 鈴木 ちえ</p>  <p>介護プラン御成</p>	<p>研修部会 大瀬良 誠</p>  <p>鎌倉プライエムきしろ</p>	<p>研修部会 三浦 龍太</p>  <p>ライフケア ファミリーエステル</p>
<p>研修部会 下城 睦</p>  <p>セコムケアステーション鎌倉</p>	<p>研修部会 吉田 宗平</p>  <p>あんの家</p>	<p>広報部会 北村 絵美</p>  <p>湘南鎌倉介護相談室</p>	<p>広報部会 青地 千晴</p>  <p>そらいろケアプラン</p>
<p>樽井 彰子</p>  <p>かまくら 在宅生活相談センター</p>	<p>以上 17 名で活動しております どうぞよろしくお願ひいたします。</p> 		

研修部会



研修部会では、総会に引き続いてオンライン研修を中心に2本の研修を実施しました。7月には緊急企画として、令和3年3月31日に厚生労働省より発出された介護保険最新情報958・959の解説について、当該情報の発出に関わった厚生労働省担当職員より直接解説頂く機会となりました。今回は講師の希望もあり、少人数でしたが会場にも受講生が集いハイブリット形式での開催となりました。ケアプラン様式変更および業務負担軽減に関する指針が示されましたが、発出に際しては事前に実務に携わっているケアマネジャーからも聞き取りを行い、担当課内でも上司との交渉を経て、現場に即した負担軽減策などが取りまとめられたというエピソードも交えて解説して頂きました。これらを具体的に業務に反映させていくには、今後はケアマネ連絡会として保険者との話し合いの場を設けていくことが望ましいとの提案を頂きましたので、なるべく早いタイミングで企画していけるよう準備を進めてまいります。

8月には「スーパービジョンについて」二週にわたる二部構成の研修が実施されました。総論から各論、その実践方法や注意点についてセルフ演習を含むオンライン形式での実施となりました。講師からは自身の失敗談なども含めてとても具体的で、すぐに業務に役立てやすいような講義をして頂きました。いまはまだスーパービジョン行う立場にいない方でも、バイザーとしての考え方や、相談者がいることの重要性なども示され、参加者の立場を問わない有益な研修となりました。

今年度からは、研修部会内でオンライン研修をオペレーションできる人材育成も具体的に始まりました。8月の研修では2名の担当者が初めてのホスト作業を無事に努めることが出来ました。オンライン研修は、今後感染症が収束したとしても、多忙なケアマネジャーにとって移動時間を要しない大変効率的な開催方法であると考えております。これからもオンライン研修を中心に様々な研修を企画してまいりますので、まだオンライン参加したことのない方でも、興味をひくものがありましたらお気軽に参加して頂ければ幸いです。

調整検討部会

調整検討部会は代表・副代表の4名体制で活動しております。活動内容としては、主に外部との連絡調整などを行っており、今期は昨年に引き続き総合防災課との話し合いを7月に行いました。

「避難行動要支援者支援制度について」現行法では個人情報提供範囲にケアマネが含まれていない事を説明頂きました。

防災課としては市役所から届く書類や文章が高齢者には分かりにくい為、対象者に分かりやすく説明を行って頂きたいとの要望がありました。

また、「意向確認書」をもとに自治会町内会長が作成される「避難行動要支援者避難支援計画書（個別計画）」の作成状況についても地域よりの温度差があり、利用者の住まわれている地域について発災時を意識してハザードマップなどでの理解を深めて欲しいとの意見がありました。

今後も1年に1度は意見交換の機会を作っていくこととなりました。



「鎌倉市防災情報ハンドブック」は、神奈川県、鎌倉市による最新の知見の災害ハザード情報[津波]「地震」「洪水」「土砂災害」を取り込み、災害への備え、情報収集、避難行動のとり方等について掲載したものです。

お知らせコーナー

鎌倉市役所より ～介護保険課 瀧澤課長のご紹介～



5月末に介護保険課長を拝命しました瀧澤と申します。配食サービスや老人センターを所管する高齢者いきいき課長との兼務となりました。新型コロナウイルスの収束が未だ見えない中、日々模索しながら、適切なサービスの提供に努めていただいていることと思います。今後も高齢者やその家族の支えとしてご尽力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

～研修会等のご案内～

①高齢者虐待防止研修(第2回目)
令和3年11月18日(木)に、
梶川義人氏の講演を予定。

②集団指導講習
年内の開催を予定(オンライン)。

※①②とも詳細は改めてお知らせいたします。

かまくら地域介護支援機構より

今年度は理事、監事の改選にともない新たな体制で活動してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◎かまくら地域介護支援機構 20周年記念講演

日時：2021年11月20日(土) 14:00

場所：KKR 鎌倉わかみや

開催方法：対面、オンラインのハイブリッドでの開催予定

講師：山崎 亮氏

※詳細は改めてお知らせいたします。



◎ターミナルケアを考える会 in 鎌倉

毎月第1水曜日 19:00 から定例にてオンライン中心で活動しております、現在、疾患別の対応について講義いただき意見交換行っております。参加希望の方は、かまくら地域介護支援機構事務局までお問合せ下さい。

◎かまくら生活支援塾(旧鎌倉生活支援研究会)

前神奈川県立保健福祉大学の太田貞司先生を中心に、2010年4月より活動しておりましたが昨年まで休止しておりました。この度オンラインにて太田先生に参加いただき、2021年9月より再開する事となりました。参加希望の方はかまくら地域介護支援機構事務局までお問合せ下さい。

編集後記

マスクが蒸し暑い季節が続きますね。今回も担当よりお薦めの本を3冊ご紹介いたします。
○「ケアマネ実務Q&A」(一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会監修・中央法規出版)日々の業務や制度改正(令和3年度改正対応)に関する疑問を260問のQ&A方式でわかりやすく解説。手元に1冊あると便利です。

○「いのちの停車場」(南杏子著・幻冬舎)救急救命センターで働いていた医師が故郷で訪問診療医になり、命を助ける立場から、命を送る現場での戸惑いを描いている小説です。吉永小百合さんが主役で映画化され話題になりました。

○「耳の傾け方」(松木邦裕著・岩崎学術出版社)介護支援専門員は、精神科医やカウンセラーではありませんが、精神疾患を抱えた利用者や家族から、話を聞く機会は多く、自分の感情が壊れそうになってしまうこともしばしばあります。そんな時、どのように話を聞けば良いのか参考になる1冊です。(A)